



投資環境

2022年12月29日

米大統領選前年の米株は

▣ 2022年は不安定な動き

2022年の米株式市場は、年明けの3日にNYダウ、S&P500ともに過去最高値を更新する順調なスタートを切りましたが、以降はロシアによるウクライナ侵攻やインフレ高進を受けた米連邦準備理事会(FRB)による急激な利上げなどを受け、不安定な動きが続きました。

11月8日投開票の米中間選挙では与党・民主党が善戦し、上院は多数派を維持、下院は共和党が多数派となりましたが、民主党は事前予想ほど議席数を減らすことはありませんでした。

▣ 大統領選前年は高い勝率

過去の米国株の騰落については、中間選挙の年は他の年と比べ見劣りがしていましたが、2022年もさえない動きになってしまいました(12月28日時点、図表1・2)。

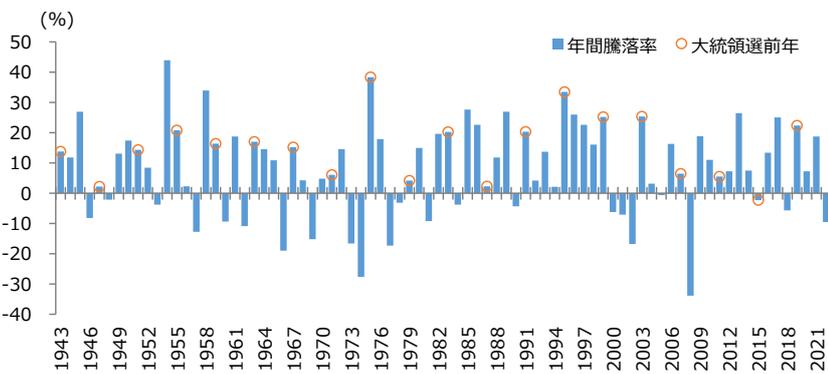
ただ、来年については大統領選の前年となり、株価は過去80年間で19勝1敗、平均の年間騰落率も他の年に比べ最も高い水準です。現職の大統領が翌年の大統領選挙をにらんで景気浮揚に注力し、株価を押し上げるとの見方があります。

月別で見ると4月までが堅調で、12月もしっかりの動きとなりやすい傾向です(図表3・4)。

▣ 米金融政策が引き続き市場を左右する可能性

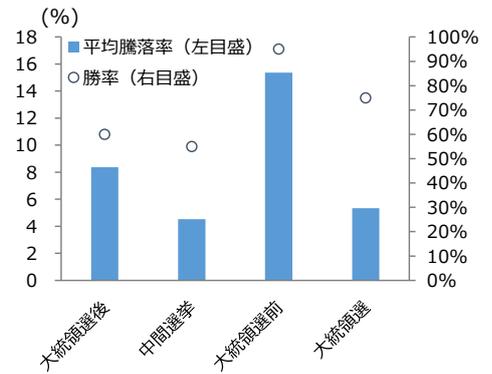
もっとも、FRBは2023年の前半は利上げを継続するとみられ、3月、もしくは5月の会合で利上げを停止するとの見方が大勢です。その後はFRBは政策金利を高い水準で維持する姿勢ですが、その

図表1. NYダウの年間騰落率



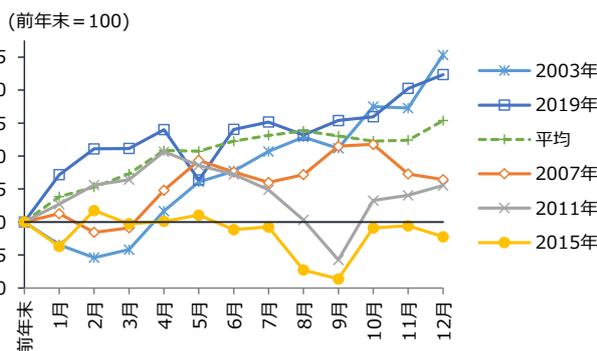
(注) 2022年12月28日までのデータを基に算出。○は大統領選の前年
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表2. NYダウの平均年間騰落率と勝率



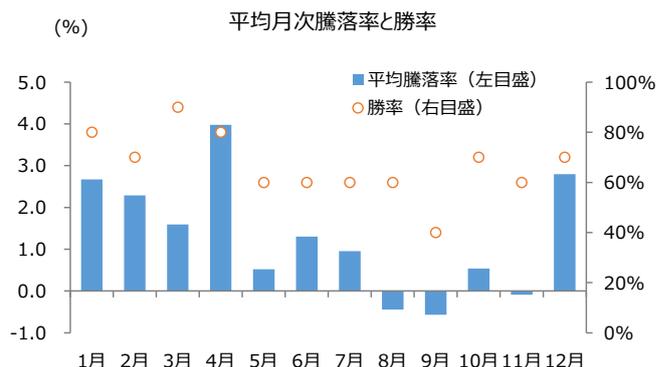
(注) 1943年から2022年12月28日までのデータを基に算出
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表3. 大統領選前年のNYダウの動き



(注) 2022年12月28日までのデータを基に算出。○は大統領選の前年
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表4. 過去10回の大統領選前年のNYダウの平均月次騰落率と勝率



(注) 2022年12月28日までのデータを基に算出。○は大統領選の前年
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL: [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

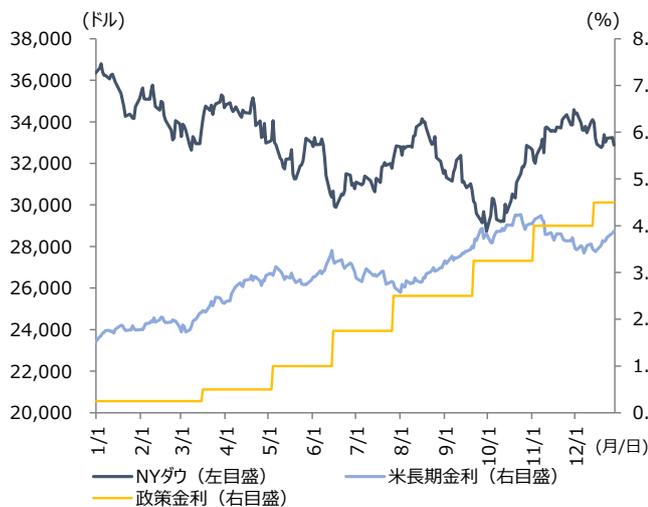
場合には、米国株は上値の重い動きが続く可能性があります。

ただ、2023年内はインフレ抑制のために政策金利を高水準で維持するのか、市場が織り込んでいるように年後半には景気悪化に配慮して利下げに転じるのか見方は分かれます。

米国のインフレがさらに鈍化し、FRBが利下げに転じるとの見方が一段と強まると、投資家心理が上向き、株価が押し上げられることも想定されます。

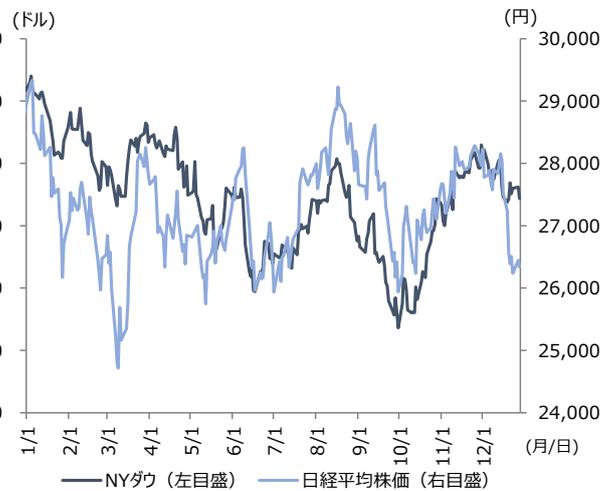
日本株については、日銀の金融緩和策のさらなる修正をめぐる思わくとともに、連動性の高い米国株の動きをにらんで、方向感を探ることになりそうです。

(参考) 2022年のNYダウ、米長期金利推移



(注) 2022年12月28日時点。政策金利はレンジの上限
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

(参考) 2022年のNYダウ、日経平均株価推移



(注) 2022年12月28日時点
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

(シニアストラテジスト 鈴木和仁)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL: <https://www.skam.co.jp>

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、請求目論見書については、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。